

## 別府大学大学院 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

### 1. 文学研究科 博士前期課程(修士課程)カリキュラム・ポリシー

文学研究科博士前期課程(修士課程)は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、伝統的人文学領域の創造的継承と新しい学問領域の構築をめざすとともに、時代の要請に応え、地域の知識基盤社会を支える豊かな学識と実践能力を備えた有為な人材を育てることを目的としています。このような目的を実現するために、ディプロマ・ポリシーに示された高度な専門力、汎用力を身につけ、修士論文を完成するために、以下のようにカリキュラムを編成します。

- ①高度な専門知識の修得のための講義科目を置く。
- ②問題の分析とあらたな展望の提示のための演習科目を置く。
- ③各自の研究テーマ、研究計画に基づき進捗状況把握しながら指導教員による論文指導を行う。

またカリキュラムの実施に当たっては、各専攻の教育目標に従って、講義・指導の担当者がシラバスを作成し、科目の到達目標、学習内容、成績評価の方法、事前準備などを明示し、自己点検・自己評価を行い、FD活動を通じて、教育の改善を図るように留意します。さらに、研究指導においては、研究の進捗状況を把握し、適切な指導ができる体制を確保します。

#### 1 歴史学専攻

歴史的専門知識を修得できるようにするため、日本史・東洋史・西洋史・アーカイブズの4領域において、修士論文作成のためのテーマ設定をできるようなカリキュラムを編成します。そのうえで、日本史領域では、研究史整理と文献史料の読解に関する各科目、アーカイブズ領域では、いろいろな史料を保存・整理する理論と技法に関する各科目、東洋史・西洋史領域では、史料及び研究文献を原典理解し、世界史的視野を獲得できる各科目を設定しています。また、カリキュラムの編成にあたっては、領域相互の交流による幅広い視野の教養にも留意します。

#### 2 日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学専攻では日本語・日本文学の領域で専門的知識を習得し、自らが設定したテーマによる修士論文作成ができるようなカリキュラムを編成します。そのために日本語、日本文学について、それぞれ時代別のあり方を理解することで伝統の継承と理解を深めることができるような各科目を設定しています。また、編成の上で国際的視野から広く対象をとらえることにも重点を置き、比較文学研究、日本文化論などの科目を設置しています。

#### 3 文化財学専攻

文化財学専攻では、多岐にわたる領域(考古学、文化財分析科学・保存修復学、環境歴史学・民俗学、美術史・美術工芸学、観光地理学、文化財行政学や文献史学、文化財や村落遺跡の調査など)を通して幅広い知識と技能を習得し、研究テーマの設定や修士論文を作成できるようなカリキュラムを編成します。このカリキュラム編成のもと、文化財と文化の継承のための高い専門知識を習得できる科目(講義や演習・実習、現地調査等)を設定しています。また、高い専門性を有するとともに国際的視野や発想で研究対象を捉えることができる人材の育成をめざします。

#### 4 臨床心理学専攻

心の健康の保持増進をめざし、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働の5分野における心理に関する支援の技能を身につけ、さまざまな職種と協働しながら主体的に実践できる人材を養成します。

### 2. 文学研究科 博士後期課程カリキュラム・ポリシー

文学研究科博士後期課程は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、博士論文の作成を通じて、研究者として自立できる高度な研究能力と豊かな学識を養うために、指導の目標を明示し、論文作成計に基づいた研究指導を実施するとともに、学会などの場における発表の機会を設け、研究能力の向上を図ります。

このような本課程の方針に基づき、各専攻は以下の方針で研究指導を行います。

#### 1 歴史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の3領域において、歴史関係の学会等で十分な価値のある発表ができ、歴史関係の学術雑誌へ論文投稿ができるように、その裏付けとなる方法論を教示し、なおかつ、歴史学に関する先端的研究を推進する技法・理論を修得させて、そうした点を基礎として、最終的に博士論文の作成を目指して自立的な研究ができるように、指導をおこないます。

#### 2 日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学の研究において学会の研究の水準に基づきながら独創性を持った論文作成ができるように専門知識と理論を習得させます。また、研究者としての自覚を高めるために学会に積極的に関わらせ専門分野で次代を担うことのできるように研究能力の向上を図った上で、博士論文作成を目標に指導します。

#### 3 文化財学専攻

専門とする文化財領域において、高度な専門性と技能を習得できるように指導を行いません。また、学会活動などに積極的に関わらせ、研究成果の発表や学術論文の作成を通して研究者としての自覚と能力を向上できるように指導します。

### 3. 食物栄養科学研究科食物栄養学専攻 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

教育目標を達成するため、「食と栄養」に関連した領域の高度専門職業人、研究者、教育指導者を養成するための体系的なカリキュラムを編成する。

- (1) 食物学分野の研究領域である「食品科学領域」、栄養学分野の研究領域である「基礎栄養科学領域」、公衆栄養学や臨床栄養学などの研究領域である「実践栄養科学領域」、食品製造や食品微生物学およびバイオテクノロジーの研究領域である「発酵食品科学領域」を柱とした専門科目を基本的な構成とする。
- (2) さらに上記4つの領域を包括する「領域共通科目」を配置する。
- (3) 各領域科目は、それぞれの専門分野を包括する独立の教育・研究単位であるが、各々の研究領域や研究領域間の多様な研究課題に、多角的・融合的に対応することのできる内容とする。
- (4) 「食品栄養科学領域」、「基礎栄養科学領域」、「実践栄養科学領域」、「発酵食品科学領域」のうち、自ら選択した領域から6単位以上、その他の2つ以上の領域からは8単位以上を選択し、計14単位以上を履修しなければならない。
- (5) 「領域共通科目」から4単位以上を選択し、「テーマ研究」14単位とともに18単位以上が必修となっている。修了時は合計32単位以上を修得し、かつ学位論文の審査及び最終試験に合格する必要がある。

## 別府大学大学院 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

### 1. 文学研究科博士前期課程(修士課程)ディプロマ・ポリシー

学士課程で修得した幅広い教養、専門力、汎用力を、さらに組織的な教育・研究体制ならびに体系的な教育課程のもとで発展させ、深い学識と研究方法を身につけ、その成果として、十分な学問的水準に到達した学位論文を作成した学生に対して最終審査を行い、これに合格した者に対して、修士(文学)の学位を授与します。

- ①学位の客観的水準を確保するため、最終試験の発表を公開します。
- ②専攻分野について深い学識と研究能力の有無を確認するため最終試験を実施します。
- ③審査に当たっては、専門職にふさわしい知識、技能、研究への意欲をもつかなどについても加味し、評価します。また、広い視野にたった学識、高度な専門技能を備え、高度な専門性を必要とする職業を担うための能力を身につけているということを鑑み、社会的意義から専攻分野において修得した深い知識と倫理観により問題を分析し、新たな展望を開くことができるという点を重視します。

#### 1 歴史学専攻

- (1) 日本史・東洋史・西洋史・アーカイブズの4領域において各領域(日本史領域、東洋史領域、西洋史領域、アーカイブス領域)共に先行研究の業績内容を正しく理解して、批判すべき点は正統な手続きを経て批判できる方法論を習得している学生に対し学位を授与します。
- (2) 歴史史料について、日本史領域では、古文書等の文献史料を正確に読解して内容を理解する知識を習得し、それをもとに専門的な修士論文を構想し、正しく執筆できる能力を持っている学生に対し学位を授与します。
- (3) 歴史史料について、東洋史領域、西洋史領域では、外国語の文献史料を正確に読解して内容を理解する知識を習得し、それをもとに専門的な修士論文を構想し、正しく執筆できる能力を持っている学生に対し学位を授与します。
- (4) 歴史史料について、アーカイブズ領域では、古文書等の文献史料を正確に読解するだけでなく、文献史料を含むいろいろな形の史料を保存・整理・管理する実務能力を習得し、それをもとに専門的な修士論文を構想し、正しく執筆できる能力を持っている学生に対し学位を授与します。

#### 2 日本語・日本文学専攻

上代から現代に至る時代の日本語・日本文学を体系的に理解するとともに専門的な文献、資料の読解ができる能力を習得し、先行する研究を正確に理解した上で現代の研究水準にふさわしい論理的思考により自らの研究成果を発表することができる学生に学位を授与します。

#### 3 文化財学専攻

祭りから発掘調査まで、幅広く地域の文化財に関する専門知識と技能を習得し、収集した資料や分析などから得た情報を的確に解析できる能力を身につけ、文化財関係の教育・専門職として地域の活性化や文化継承の核となり、社会に寄与できると判断された学生に対し、学位を授与します。

#### 4 臨床心理学専攻

保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働のいずれかの分野において、心理的な支援に関わる相談、助言、指導、教育を専門的に行い、さらに心理学的諸問題の背景にある事象を分析することができる学生に対し学位を授与します。

## 2. 文学研究科 博士後期課程 ディプロマ・ポリシー

文学研究科では、所定の年限在籍し、所定の研究指導を受け、博士論文の最終試験に合格した者に対して、学位規定の定めるところにより博士（文学）の学位を授与します。原則として学外の教員・研究者等として活動できる研究能力を有しているかを基準に最終試験を公開して判定を行います。

学位授与にあたっては、以下の点に到達していることが求められます。

(1) 博士前期課程で培った学識、技能を発展させ、高い倫理観のもと、自立した研究を推進する能力があること。

(2) 専攻文献を的確に理解し、学問の水準にあった研究成果を発表できること。

このような本家庭の方針に基づき、各専攻は以下の学位授与の方針に基づき学位を授与します。

### 1 歴史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の3領域において次のような学生に対し学位を授与します。

- ① 専門的な高度の知識を習得し、その専門知識を基礎として博士論文を作成できる能力を有すること。
- ② 先行研究の業績を十分理解したうえで、その先行業績を批判的に発展継承できる能力を有すること。
- ③ これまでの先行研究にはない、独創的かつ先端的な研究を確立して推進できる能力を有すること。

### 2 日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学の分野において次のような学生に対し学位を授与します。

- ① 専門的な高度の知識を習得し、その専門知識を基礎として博士論文を作成できる能力を有すること。
- ② 先行研究を理解し、専門分野の研究の深化に貢献できる能力を有すること。
- ③ 先行研究を理解し学問的水準を持つとともに独創的な視点による研究能力を有すること。

### 3 文化財学専攻

考古学・環境歴史学・民俗学・観光地理学・美術史の分野において、次のような学生に学位を授与します。

① 文化財に関する高度な専門知識と技能、優れた資料収集能力やデータの解析能力を習得し、その専門知識を基礎として博士論文を作成する能力を有すること。

② 先行研究の業績をふまえつつ、独自の視点で研究を発展させる能力を有すること。

③ 研究者や文化財関係の教育・専門職として社会に寄与できると判断できること。

## 3. 食物栄養科学研究科食物栄養学専攻 学位の授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

修了時点で次の能力・態度・技術等を身につけていること。

- (1) 食、健康、生命科学に関する最新の高度な専門的な知識と理解
- (2) 食、健康、生命科学に関する課題を他者と協力して俯瞰的立場から解決することのできる専門的な能力・技能
- (3) 栄養管理・給食管理・栄養教育・栄養指導のリーダーに必要とされる能力
- (4) 生命科学に関する基礎的理解があり、バイオテクノロジーの専門分野に関する最新の知識・技術・技能

## 別府大学大学院アドミッション・ポリシー

### 1. 文学研究科博士前期課程（修士課程）

文学研究科博士前期課程（修士課程）は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、伝統的人文学領域の創造的継承と新しい学問領域の構築をめざすとともに、時代の要請に応え、地域の知識基盤社会を支える豊かな学識と実践能力を備えた有為な人材を育てることを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では、次のような学生を受け入れます。

- ①研究を遂行できる基礎的資質をもった学生。
- ②探求への情熱をもち、知識習得の意欲と明確な研究目標をもつ学生。
- ③地域社会を担うことへの強い関心と意欲をもつ学生。
- ④国際的な視点で物事を考え、異文化への理解を深めたいと願う学生。

このような本課程の受入れ方針に基づき、各専攻は以下のような学生を受け入れます。

#### (1) 歴史学専攻

日本における歴史学の伝統的な枠組みである、日本史・東洋史・西洋史のそれぞれの学問領域について基礎的知識を有し、歴史的専門知識の修得に意欲があり、研究を遂行できる基礎的資質を持つ学生。

#### (2) 日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学における伝統の継承に強い意欲を持ち、それを対象とした研究を遂行できる資質をもつとともに、国際的な視野から日本語・日本文学を理解することを望む学生。

#### (3) 文化財学専攻

考古学、環境歴史学、民俗学、観光地理学、文化財保存学、美術工学、美術史など、文化財に関する分野の調査・研究について学びたいという強い意欲をもち、それを遂行できるだけの学力を持っている学生。

#### (4) 臨床心理学専攻

臨床心理学分野の研究遂行の基礎的資質とともに、心理援助の実践者（こころの専門家）となりうる資質を備えている学生。人間に対する暖かい関心をもち、冷静に率直に自分を見つめることができる学生。

### 3. 文学研究科博士後期課程

文学研究科博士後期課程は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、博士論文の作成を通じて、研究者として自立して活動できる高度な研究能力と豊かな学識を養い、教育職や博物館・美術館などの専門職を目指す有為な人材を育成することを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では以下のような学生を受け入れます。

- ①修士学位取得者およびそれに相当する能力をもつ人。
- ②本学の建学の精神を理解する人。
- ③高度でかつ専門的な研究に取り組む意欲のある人。

このような本課程の受入れ方針に基づき、各専攻は以下のような学生を受け入れます。

#### (1) 歴史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の3領域それぞれの分野において、歴史的専門知識を有し、より高度な研究に取り組む意欲のある人。

#### (2) 日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学において独創性を持って真理の探究を遂行する能力があり、高度で専門的な研究に取り組む意欲のある人。

#### (3) 文化財学専攻

文化財に関する専門的な調査研究を行いたいという強い意欲をもち、それを遂行できる高度な能力をもつ人。

### 2. 食物栄養科学研究科食物栄養学専攻修士課程

食物栄養科学研究科は、21世紀における人類の健康な生活を支援するため、最新の知識

に、基づいた生命、健康、食の科学と応用を総合化した教育と研究を行い、食、栄養、バイオテクノロジー等の高度な幅広い知識と技術を備えた有為な人材を育成することを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では、次のような学生を受け入れます。

- (1) 食や健康に強い関心を持ち、生命科学の基礎的な知識を有している人。
- (2) 急速な高齢化社会の進展に対応できる「食と栄養」に関連した領域の高度専門職業人、研究者、教育指導者として活躍する意欲を有している人。
- (3) 地域住民の医療・健康・福祉の向上ならびに地域社会および国際社会の発展に寄与する意欲を有している人。